

事業所名

児童発達支援 おりーぶ瑞穂

支援プログラム（児童発達支援）

作成日

2025年

1月

15日

法人（事業所）理念		一人一人に寄り添った支援								
支援方針		各分野の専門家が一人一人の療育を担当します。 ・教育、心理など、各分野のエキスパートがチームとなり、お子様の可能性を引き出します。 学習支援をはじめとする療育、療法が充実しています。 ・個別学習ニーズに合わせたプログラムや効果的な療法を提供し、お子様の可能性を引き出します。 ・明るく快適な環境で学びや療育が行われ、お子様の自信と自己表現を育みます。								
営業時間		11時	0分	から	17時	0分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支援内容										
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・睡眠、食事、排泄、衣服の着脱等の基本的な生活リズムを身につけるよう支援しています。（健康への意識へつなげる） ・手洗い・うがいなどを行うことで感染症から自分の身体を守ることを根気強く伝えています。また、水分補給をこまめに行うことを伝えています。（健康状態の把握へつなげる） ・身の回りを清潔にし、食事・衣服の着脱・排泄など、生活に必要な基本的技能を習得できるように支援していきます。（基本的な生活スキルの獲得へつなげる） ・様々な遊びを通して学べる環境を整える。また、個々の特性に配慮し、時間や空間を尻に分かりやすく知らせて環境を整えています。（生活環境の整備につなげる） 								
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・運動遊びが苦手な子どもや身体を動かすことの好きな子ども達に向けて、音楽に合わせて遊ぶダンスなどを提供し、身体全体を動かせるようにしています。（姿勢と運動・動作の獲得へつなげる） ・平均台・トランポリン・マット・フープなどを組み合わせたサーキット運動遊びや壁のストーンを登ったりするボルダリングなど個々に目標を決めた遊びをしています。（身体能力の向上） ・基本動作である手を振って、足を上げて元よく歩くこと、手指を使って物を掴んだり、挟んだりする作業を作業療法士の支援を受けて行っていきます。（個別の感覚活用へつなげる） ・バランスボール、ボールプール、ハンモック、ターザンロープなどを使って感覚統合遊びをしたり、クッションボール、感覚遊びができるようにしています。（感覚特性への対応） 								
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の表情を読み取るのが苦手な子どもが表情や感情を描いた絵カード等を用いて人の思いに気づき適切に処理できるよう環境整備したり、支援したりしています。（認知に対して） ・ジェル粘土、砂粘土を使って色々な形を作って遊んだり、スライムづくりや小麦粉粘土の製作過程での視覚・触覚等の繋がりが分かるようにしています。（知覚から行動への認知過程へつなげる） ・トランプを使って神経衰弱、ババ抜きや、UNO、かるたなどのカードゲームを行って色々なルールを知ったり、SSTカードを使って適切な行動の仕方を学んだりしています。（認知の偏り対応） ・数量・形の大きさ・物の重さ・色の違い等の習得するためプリント課題をしたり、視覚で分かるような時計で時間を知ったりして楽しく学んでいます。（数量・大小・色などの習得へつなげる） 								
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり一人の特性に合わせて色々な遊びの中で体験したことが理解できるように「目で見て理解できる」内容を聞きとって指導員が代弁し、その事柄を声や音として分かるように支援していきます。また、皆と一緒に絵本の読み聞かせをして目で見たり、感じたりしたことを色々な方法で伝えたり、絵カード等で自分の気持ちを知らせたりして思い（意思）の伝達が円滑にできるように支援します。（言語の形成と応用へつなげる） ・自分の思いを簡単な手段（手話）で気持ちを知らせたり、文字を書いて返事や思いを友達に伝えたりして仲良くなるきっかけを作っています。（人との相互作用によるコミュニケーション手段へつなげる） ・思いを伝えようとする手段として欲しいものを指でさしたり、身振り手振り（ジェスチャー）やよかったこと嫌なことをサインなどで知らせることができるようにしています。（コミュニケーションと手段の選択へつなげる） 								
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・いつもそばで色々なことを教えてくれる大人、一緒に楽しく遊ぶ友達と親密な関係を築き、信頼関係に繋がられる周りの人と安定した環境を形成するための支援をします。（他者とのかかわり（人間関係）の形成へつなげる） ・一人遊びから同じ場所で同じ遊びを個々に楽しむ並行遊びに移行し、遊びを一緒に楽しく進める遊びから、ひとり一人が役割やルールを守って楽しむことができ、遊びの育ちを促し社会性が培われるように支援します。（協働遊びへつなげる） ・グループごとに役割を決めたり、作戦を話し合ったりして小集団同士で競い合う運動会やゲーム大会を企画して遊びや集団生活に参加できるような支援を行います。（仲間作りと集団への参加につなげる） ・個々の発達に応じたかかわり方を提案し、自分の出来ること出来ないことを理解し気持ちや感情・情緒の調整ができるような支援を行います。（自己理解と行動の調整へつなげる） 								
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> ・子育ての困りごとや難しく思っている事を丁寧に聞き取り、家庭と児童発達支援事業所の役割を明確にして、より良い療育を一緒に考えていきサポートに繋がります。 ・個別支援のかかわりや面談などを通じて療育の仕方をお伝えし共有していきます。 				移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・園、相談支援事業所などに、今のお子様の姿や発達の様子を詳しく聞きとって療育に活かしていきます。 ・必要に応じて事業所を訪問し、連絡を取り合って、具体的なかかわり方を共有していきます。 			
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で開催される夏祭りなどに参加したり、ボーイスカウトが開催しているお祭りなどに参加したりしています。また、園での子ども達の姿を見て、様子を聞いたりしてかかわりをもっています。 				職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・月に一度職員会議を開いて、子ども達の支援方法について話し合いをし、意見交換や情報交換する機会をつくっています。 ・虐待・身体拘束・感染症等の研修を年2～3回行っています。 ・自己アンケートを行い職場に対して、自分に対して振り返りを行います。 			

主な行事等

- ・季節に合わせた行事(イースター・七夕・夏祭り・運動会・ハロウィン・芋掘り・クリスマス会・餅つき・節分・ひな祭り・花見)
- ・プレゼント製作(母の日・父の日・敬老の日・バレンタイン・ホワイトデー・卒業お祝い)
- ・各/月の誕生会・避難訓練・クッキング・買い物体験・社会見学・遠足・公園遊び・感覚遊び・ボルダリング・プレイセラピー等